

○令和2年度 教育事業

「ボランティア自主企画事業」(R3.1.17(日))

◆目的

ボランティアが事業の企画運営を通して、ボランティアに必要な技術等のスキルアップを図るとともに社会参画への意欲を高める機会とする。

◆参加実績(定員11名)

参加9名(内訳:企画メンバー 6名、当日運営メンバー 3名)

所属別内訳	
高校生	2名
大学生	3名
社会人	4名

地域別内訳	
旭川市	2名
札幌市	4名
上川管内	3名

◆日程

8:45 9:00		11:45 12:45		16:30 17:00			
1/17 (日)	受付	事業準備	昼食	モデル連携事業の運営		片付け ふりかえり	解散

◆プログラム

① 事業準備(105分)

企画メンバーが事前に考えた事業の内容を当日運営メンバーに伝え、会場の準備を行った。その後、プログラムの試行を行い、プログラムの進め方や安全面について活動ごとに確認した。



② モデル連携事業の運営(225分)

企画した親子事業の受付から、見送りまでをボランティアが中心となり運営を行った。活動は、前半に外遊び活動を行った。ミッションごとにボランティアが参加者へルールを説明し、親子で協力してクリアできるよう声かけ等を行った。後半は、手作りバターと絵を描いたホットケーキを家族ごとに作った。活動のなかでは参加者の動きをできるだけ少なくし、事前に道具類を家族ごとに準備するなど、新型コロナ対策も十分に考えられた活動となった。



◆事業運営・企画のポイント

- 企画を担当するボランティアが計画を進めやすいように、スケジュールや交流の家からのお願いをまとめたToDoリストを作成した。
- 参加者を企画者と当日運営者に分けて募集することで、企画者がプログラムに集中して準備等ができる環境で事業を行った。



◆参加者の声

- メンバー同士もほとんど会えないこの状況を考えれば、みんなで頑張れてよかったが、もっと会議の方法について、工夫を自分たちで考えていきたい。
- 親子事業の運営は初めてだったので、私たちの立ち回りや配慮すべきことについてとても勉強になりました。ありがとうございます!
- 今回で2回目でしたがまだまだ慣れないことも多く勉強になることが多かったです。

□限られた時間の中でみんなが出来ることをそれぞれ頑張っていたので参加者の皆さんも笑顔で過ごしてくれたのだと思うのでよかったです。

□企画をするボランティアメンバーも増やしていけたらいいと思うので、コロナが収まったらじっくり自主企画できる機会があると嬉しいです。

◆事業の成果と課題

- ①企画や運営を通して、ボランティア活動に必要な技術等を高めてもらうことができた。
- ②次年度以降のボランティア自主企画事業へも参加したいという声が聞かれ、社会参画に対する意欲も高めることができた。
- ③事業の企画について学ぶ研修会を行うなど、計画的に学ぶ機会を設ける必要がある。



◆事業運営費	合計	3,324 円
燃料費	・	1,452 円
通信費	・	1,872 円

